

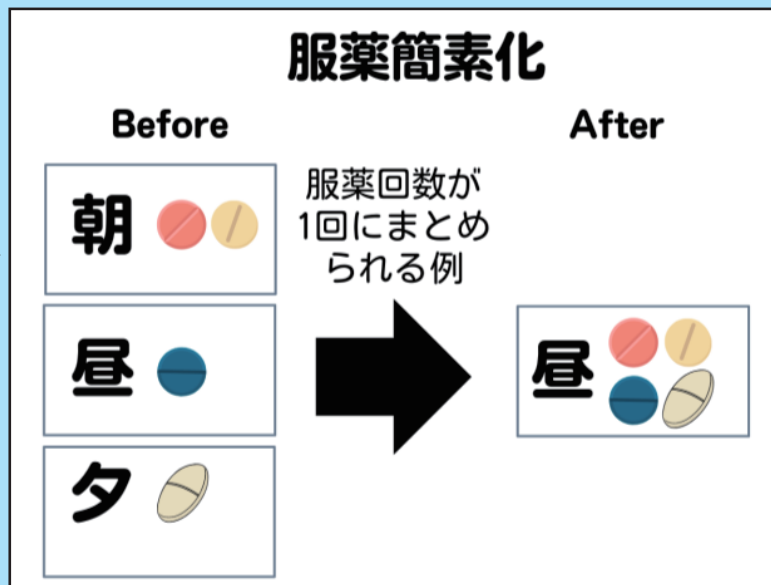
服薬をシンプルに、生活を豊かに

～年齢や疾患を問わず実践できる服薬簡素化と支援体制づくり～

服薬簡素化は、年齢や疾患にかかわらず、誰もが日常生活の中で安心して薬を続けられるように支援体制を整える取り組みです。薬の種類や回数を整理することで、飲み忘れや誤薬のリスクが減り、服薬に伴う負担が軽くなります。また、服薬がシンプルになることで、利用者自身が主体的に薬を管理しやすくなり、仕事・学業・家庭生活など、個々の生活の質（QOL）を高める効果も期待できます。

一方で、持続性製剤への切り替えや薬剤構成の見直しにより、薬剤費が増減する可能性があり、費用面の判断には慎重さが求められます。さらに、すべての薬剤が簡素化に適しているわけではなく、疾患の特性や治療計画との整合性を踏まえた適応判断が必要です。こうした「安全性・生活のしやすさ・費用」のバランスをどのように取るかは、専門職の協働によって支えられます。

服薬簡素化を適切に進めるためには、処方を行う医師、薬物治療を評価する薬剤師、日常支援に関わる看護職・介護職・相談支援専門員など、多数の専門職が利用者の生活状況や支援体制を共有しながら連携することが不可欠です。本例会では、服薬簡素化の概略、メリット・デメリット、適応の範囲、多職種連携のポイントを整理し、「誰もが続けられる服薬支援」を実現するための基礎となる視点を学ぶ場として開催します。



テーマ：服薬簡素化に関して

話題提供：薬剤師 東洋 慶武さん(札幌薬剤師会 西支部支部長・東洋薬局 八軒)

日時：令和8年9月17日(木) 18:30～20:00 (予定)

会場：西区民センター 区民ホール (琴似2条7丁目)

問合せ：札幌市医師会

在宅医療・介護・認知症サポートセンター 0120-142-864

西区在宅ケア連絡会

info@zaitaku-care.info

令和8年度多職種連携意見交換会 / 第318回西区在宅ケア連絡会

主催：札幌市医師会・札幌市医師会西区支部 共催：西区在宅ケア連絡会